

# 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

## 避難行動判定フロー

ハザードマップ(本書)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



はい

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

平時に確認

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

災害の危険があるので、**原則として**、自宅の外に避難が必要です。

参照



- 土砂災害(特別)警戒区域
- 利根川洪水ハザードマップ
- 小貝川洪水ハザードマップ
- その他の災害区域

⇒4～6ページ

「風水害等に備えて」をご覧ください

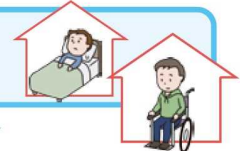
に該当する世帯は



ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？  
または、自家用車で高台への避難は可能ですか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している**指定避難場所及び指定避難所**に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅、または、毛布等を準備のうえ自家用車で高台に避難**しましょう

警戒レベル4が出たら、市が指定している**指定避難場所及び指定避難所**に避難しましょう

## 【早めの避難に関して】

災害時には早めの避難が大切です。自分や家族の身を守るために、避難情報等の発令、避難所の開設の有無に関わらず、危険だと判断した場合には、知人宅や周囲の高台など、ご自身が安全だと思う場所に早めに避難しましょう。